

## ボイラー整備士受験準備講習会のご案内

東京ボイラー整備据付協会  
<http://www.boseikyo.or.jp/tokyo/>

ボイラー第一種圧力容器の整備を行うには国家試験に合格してボイラー整備士の資格をとらなければなりません。この試験は、関東安全衛生技術センターで行われます。整備士資格取得には、受験準備を十分にすることが肝要です。当協会では、下記により整備士受験準備講習会を開催いたしますのでご案内申し上げます。

### 記

1. 日 時 平成30年9月5日(水) 9時30分～16時30分  
 平成30年9月6日(木) 9時30分～16時30分

2. 場 所 江東区亀戸文化センター(亀戸駅下車2分) 1日目 6F 第3会議室  
 2日目 5F 第1研修室

### 3. 講習科目と講習日程

講習科目		講習日程	講習時間	
1 日 目	ボイラー及び第一種圧力容器に関する知識	9月5日(水) 9時30分～14時30分	4時間	
	関係法令	9月5日(水) 14時30分～16時30分	2時間	
2 日 目	ボイラー及び第一種圧力容器の整備の作業に使用する器材、薬品等に関する知識	水処理、その他の取扱方法 P.124～P.133 化学洗浄作業 P.186～P.204 化学洗浄用薬品及び機器 P.223～P.227	9月6日(木) 9時30分～13時30分	3時間
	ボイラー及び第一種圧力容器の整備の作業に関する知識	上記以外の範囲 機械洗浄・機材	9月6日(木) 13時30分～16時30分	3時間

(注) 各講習日における時間割については、変更することがあります。

### 4. 受講料・テキスト代

受講料 2日間 1名 16,000円 (※会員事業場は、10,000円)  
 1日のみ 1名 9,000円 (※会員事業場は、6,000円)

テキスト代(別途) 8,800円 (内訳○の合計)

- 「ボイラー・圧力容器の整備」 2,900円
- 「ボイラー整備士問題・解答集」 3,100円  
(平成26・27年 上期・下期 公表問題掲載)
- 「ボイラー・圧力容器整備据付関係法令」 2,500円
- **平成28年下期実施試験問題** 150円  
(講習会の際に解説をします。)
- **梱包代として** 150円
- 受験申請書 無料

◎ 送料は別に宅急便の着払

5. 申込期間 平成30年7月10日（火）～平成30年8月17日（金）  
（但し、定員になり次第締切ります。土、日曜は除く。）

6. 申込方法

申込書に必要事項をご記入の上、FAX下さい。（03-5687-2900）後日、こちらより受講料等の振込金額を事業場へFAXにてご連絡致しますので、下記へお振込み下さい。  
テキスト・受講票等、事業場へ宅急便の着払いにてお送り致します。  
（申込後の受講料は返却致しません。）

**【銀行振込】 みずほ銀行 京橋支店 普通預金 口座番号 No.1689840  
口座名 東京ボイラ整備据付協会**

**【郵便振替】 口座番号 00140-0-335572  
口座名 東京ボイラ整備据付協会  
（郵便振替の場合のみ、入金確認に時間がかかる為、振込控をFAX下さい。）**

7. 注意事項

ボイラー整備士免許試験の受験資格はありません。但し、試験合格後、免許証を受領する時は下記の資格が必要です。

ボイラー及び圧力容器安全規則第115条により次の各号に該当する者。

イ. ボイラー{(令)第20条5号イ～ニに掲げる(小規模ボイラー)及び小型ボイラーを除く}の整備の業務の補助の業務又は内容積1m<sup>3</sup>をこえる第一種圧力容器の整備の業務の補助の業務に6ヶ月以上従事した経験を有する者。

ロ. (令)第20条5号イ～ニに掲げるボイラーの整備の業務又は内容積1m<sup>3</sup>以下の第一種圧力容器の整備の業務に6ヶ月以上従事した経験を有する者。

ハ. 職業訓練法に基づくボイラー運転科の訓練を修了した者。

ニ. ボイラー技士又はボイラー取扱技能講習を修了した者が、自己の取り扱うボイラーの整備の作業又は整備の作業の補助の業務を自ら行っている場合は、ボイラー取扱経験1年を2ヶ月と算定して3年(暦年)以上取扱経験のある者。

8. 講習会の予定 年2回(9・1月)

ホームページからも案内・申込書のダウンロードが出来ます。

**講習会当日会場では「テキスト」の販売は致しません。  
「テキスト」をお忘れになりませんようご注意ください。**

※注意：会員とは(一社)日本ボイラ整備据付協会の各支部・事務所の会員の事を示します。

(一社)日本ボイラ協会、(公社)ボイラー・クレーン安全協会とは別になります。